

# ルビーの里に球体イルミ 駒工生が製作

駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）電気科の3年生有志が、近くにあるルビーの里で製作していたイルミネーション作

品が完成した。2014年から続く取り組みで、今回の作品は高さ2・1メートルの球体。発光ダイオード（LED）による電飾が輝きを放ち、冬の園内を鮮やかに彩っている。ルビーの里は金属加工工業タカノ（本社宮田村）のエクステリア工場が、製品の常設展示場を兼ねて整備した公園。夜間も開放しており、冬期はイルミネーションを飾っている。毎年同社から製作の依頼があり、今年も課題研究に取り組み女子生徒3人が夏休み前から準備を進めてきた。

作品はアルミ製の骨組みに約7200球のLEDを飾り付けた「体験型のイルミネーション」。手動で音楽が流れる仕組みで、球体の中に入ることできる。班長の森華鈴さん（17）は「いろんな人の協力で何とか完成させることができた。多くの人に見てもらいたい」と話している。

園内のイルミネーションは3月まで毎日、日没から5時間ほど点灯している。

（布袋宏之）

ルビーの里に設置された駒工生のイルミネーション作品

